

平成29年上半期

# 火災と救急・救助の概要



三木市消防本部

# 平成29年上半期火災と救急・救助概要

この統計は、平成29年1月1日から平成29年6月30日までの上半期に、三木市で発生した火災・救急・救助を集計したものです。

## [ 目 次 ]

### 火 災 概 要

1	火災種別件数（対前年比）	1
2	火災概要（対前年比）	2
3	署別火災件数	3
4	地区別火災件数	3
5	月別火災件数	3
6	曜日別火災件数	4
7	時間別火災件数	4
8	覚知別火災件数	4
9	原因別火災件数	5
10	初期消火の状況	5
11	死者の状況	5
12	消防部隊出動状況	6
13	高速道路別出動状況	6

### 救 急 概 要

1	救急出場件数	7
2	事故種別救急活動状況	8
3	地区別救急出場件数	8
4	曜日別救急出場件数	9
5	月別救急出場件数	9
6	時間別救急出場件数	9
7	傷病程度別搬送人員	10
8	年齢別搬送人員	10
9	性別・科目別搬送人員	10
10	応急処置件数	11

### 救 助 概 要

1	救助出動状況	12
2	発生場所別出動件数	12
3	事故種別地区別活動状況	13

## 平成29年上半期の火災概要

本年上半期（1月～6月）に発生した火災件数は21件で、前年同期より2件増加しました。

火災種別では、建物火災が2件増加して8件（38.1%）、車両火災は昨年と変わらず3件（14.3%）、その他火災は5件増加して10件（47.6%）となっています。林野火災、船舶火災は発生していません。

建物焼損棟数は10棟で、全焼5棟、半焼1棟、部分焼2棟、ぼや2棟、り災世帯は6世帯、り災人員は18人です。

建物焼損面積は1,502㎡（前年同期85㎡）で増加しました。

火災損害額は17,934千円（前年同期12,415千円）で増加しています。

### 1 火災種別件数（対前年比）

発生年		29年	28年
出火件数		21件	19件
火災種別	建物	8	6
	林野	0	4
	車両	3	3
	船舶	0	1
	その他	10	5

## 2 火災概要（対前年比）

出火件数は2件増加しています。  
建物・その他火災は増加し、林野・船舶火災は減少しています。

区 分		単 位	平成29年	平成28年	増 減	
出 火 件 数		件	21	19	2	
建 物		〃	8	6	2	
	内	住 宅	5	3	2	
		工 場	〃	0	2	△ 2
		訳	そ の 他	3	1	2
林 野		〃	0	4	△ 4	
車 両		〃	3	3	0	
船 舶			0	1	△ 1	
そ の 他		〃	10	5	5	
損 害 額		千円	17,934	12,415	5,519	
建 物		〃	14,449	12,051	2,398	
	内	建 物	12,182	10,882	1,300	
		訳	収 容 物	2,267	1,169	1,098
林 野		〃	0	0	0	
車 両		〃	137	313	△ 176	
船 舶			0	47	△ 47	
そ の 他		〃	3,348	4	3,344	
爆 発		〃	0	0	0	
建 物 焼 損 棟 数		棟	10	8	2	
全 焼		〃	5	1	4	
半 焼		〃	1	0	1	
部 分 焼		〃	2	4	△ 2	
ぼ や		〃	2	3	△ 1	
爆 損	損 害 棟 数	棟	0	0	0	
	車 両 等 数	台	0	0	0	
焼 損	建 物 床 面 積	m <sup>2</sup>	1,502	85	1,417	
	建 物 表 面 積	〃	33	40	△ 7	
	林 野	a	0	17	△ 17	
	車 両	台	3	4	△ 1	
	船 舶	台	0	5	△ 5	
負 傷 者		人	4	3	1	
死 者		〃	2	1	1	
り 災 世 帯		世 帯	6	4	2	
全 損		〃	4	1	3	
半 損		〃	0	0	0	
小 損		〃	2	3	△ 1	
り 災 人 員		人	18	8	10	
建 物 1 件 当 た り の 損 害 額		千円	1,806	2,009	△ 203	
〃 焼 損 床 面 積		m <sup>2</sup>	188	14	174	

(△印は減少)

### 3 署別火災件数

本署管内は7件増加、吉川分署管内は5件減少しています。

種 別		建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合計
署 別	年						
本 署	29年	6	0	2	0	5	13
	28年	3	0	2	0	1	6
広野分署	29年	1	0	1	0	3	5
	28年	2	0	0	0	3	5
吉川分署	29年	1	0	0	0	2	3
	28年	1	4	1	1	1	8
合 計	29年	8	0	3	0	10	21
	28年	6	4	3	1	5	19

### 4 地区別火災件数

前年同期と比べ、三木南・別所・細川・緑が丘地区で増加し、三木・自由が丘・吉川地区で減少しています。

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	合計
29年	4	4	6	0	2	1	1	0	0	3	21
28年	5	1	1	0	0	1	0	4	0	7	19

### 5 月別火災件数

3月が7件、5月が8件と多く発生しています。

月	1	2	3	4	5	6	合計	年間
29年	1	3	7	1	8	1	21	-
28年	1	4	4	5	5	0	19	28

## 6 曜日別火災件数

月曜日と木曜日が5件と最も多く発生しています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
29年	2	5	4	2	5	2	0	1	21
28年	3	3	0	3	3	4	3	0	19

## 7 時間別火災件数

15時台、17時台が3件と多く発生しています。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
29年	2	0	1	0	0	0	0	1	1	1	2	0
28年	0	1	0	0	0	0	2	0	1	0	0	3

時間	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
29年	2	0	1	3	2	3	1	0	0	0	0	0
28年	2	2	3	1	0	1	0	1	1	1	0	0

時間	不明	合計
29年	1	21
28年	0	19

## 8 覚知別火災件数

携帯電話の通報が9件と最も多くなっています。

種別	119 (固定)	119 (携帯)	加入 電話	警察 電話	駆け つけ	事後 聞知	その他	合計
29年	7	9	3	0	0	2	0	21
28年	5	10	4	0	0	0	0	19

## 9 原因別火災件数

たき火が7件となり、昨年と同様火災原因のトップです。

原因別	29年	28年	原因別	29年	28年
たばこ	0	0	配線器具	1	0
こんろ	1	0	火あそび	0	0
かまど	0	0	マッチ・ライター	0	0
風呂かまど	0	0	たき火	7	5
炉	0	0	溶接機・切断機	0	0
焼却炉	0	0	灯火	0	0
ストーブ	1	2	衝突の火花	0	0
こたつ	0	1	取灰	0	0
ボイラー	0	0	火入れ	0	0
煙突・煙道	0	1	放火	3	2
排気管	1	2	放火の疑い	0	2
電気機器・装置	0	0	その他	3	2
電灯・電話配線	0	1	不明	4	1
内燃機関	0	0	調査中	0	0
			合計	21	19

## 10 初期消火の状況

住民等による初期消火が行われたのは、21件中16件です。

区分	初期消火の状況						初期消火なし	合計
	消防用設備	消火器	水道・浴槽・汲み置きの水	寝具・衣類等をかいた	その他	小計		
29年	0	3	12	0	1	16	5	21
28年	0	3	7	0	0	10	9	19

## 11 死者の状況

2月の車両火災と3月の建物火災で死者が合わせて2人発生しています。

## 12 消防部隊出動状況

種別 \ 署別	本署	広野分署	吉川分署	合計
部隊	61	19	28	108
偵察	19	5	17	41
警戒	39	14	11	64
応援	3	0	0	3
風水害	0	0	0	0

(救助は除く)

- ※ 「偵察」 偵察・煙火・自火報・誤報・捜索・異臭  
「警戒」 救急支援・油処理・ガス漏洩・その他（へリ誘導）  
「応援」 近隣応援（境界、管轄高速道等）・緊急消防援助隊

## 13 高速道路別出動状況

種別 \ 道別	火災	救急	救助	偵察	警戒	応援	風水害	合計
中国道	1	4	0	0	0	0	0	5
舞鶴若狭道	0	0	0	0	0	0	0	0
山陽道	0	14	0	0	7	0	0	21
合計	1	18	0	0	7	0	0	26



## 平成29年上半期の救急概要

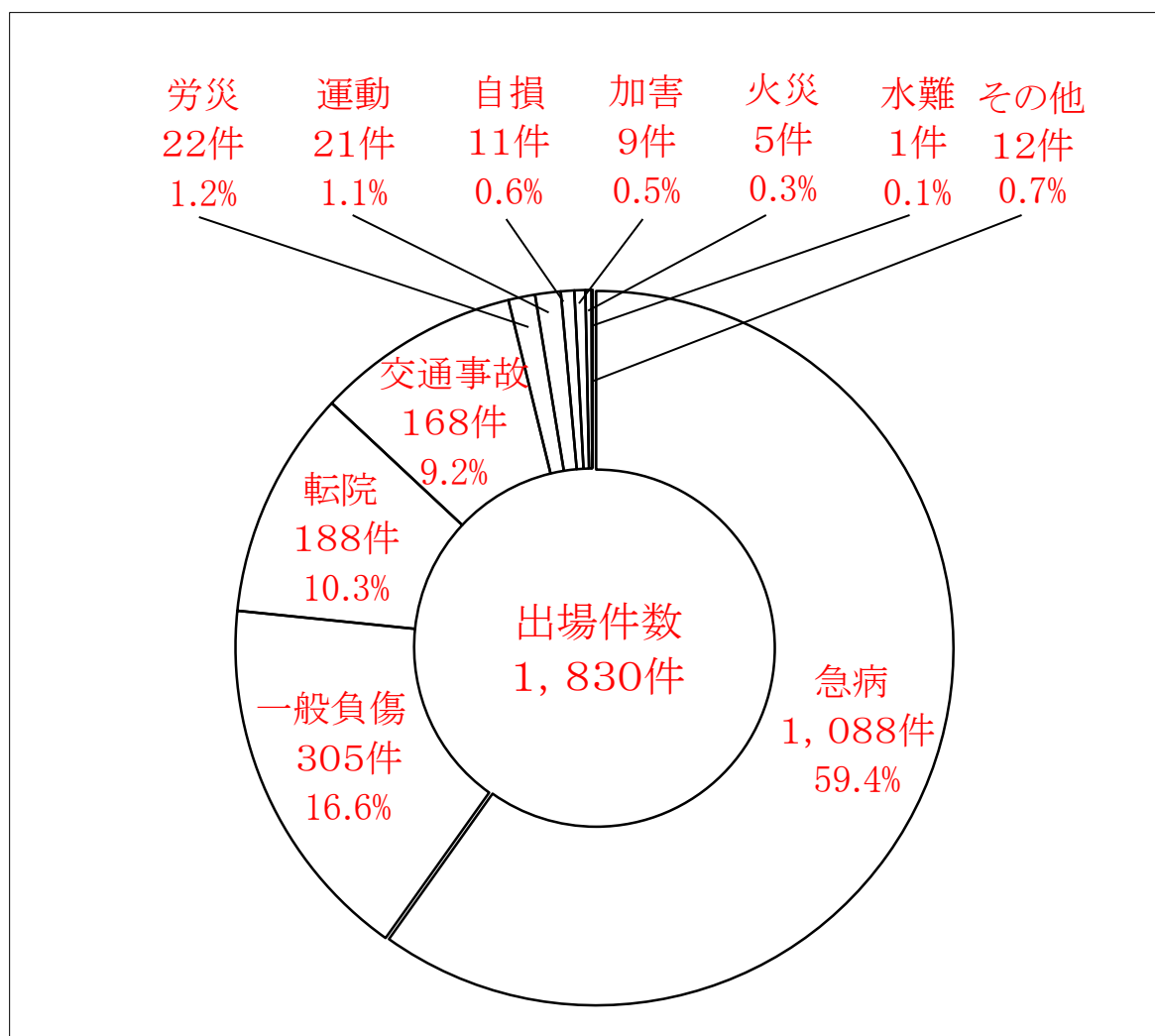
本年上半期（1月～6月）の救急出場件数は1,830件で、昨年の1,855件に比べ25件減少しています。

搬送人員は1,708人で、昨年の1,720人に比べ12人の減少となっています。

事故種別出場件数は、急病1,088件（59.4%）、一般負傷305件（16.6%）、交通事故168件（9.2%）となっており、この3種別で全体の85.2%を占めています。

事故種別による件数を昨年と比較すると、急病（36件）一般負傷（7件）労災災害（3件）自損行為（3件）火災（1件）水難（1件）が減少、転院搬送（12件）交通事故（4件）運動競技（1件）加害（1件）その他（8件）が増加となっています。

### 1 救急出場件数



## 2 事故種別救急活動状況

区 分		救 急 活 動 状 況						
		救急出場件数			搬 送 人 員			
		29年	28年	比較	29年	28年	比較	
事故種別	火 災	5	6	△ 1	2	0	2	
	自然災害	0	0	0	0	0	0	
	水 難	1	2	△ 1	0	0	0	
	交 通	168	164	4	161	168	△ 7	
	労働災害	22	25	△ 3	19	23	△ 4	
	運動競技	21	20	1	20	20	0	
	一般負傷	305	312	△ 7	286	290	△ 4	
	加 害	9	8	1	7	6	1	
	自損行為	11	14	△ 3	5	6	△ 1	
	急 病	1,088	1,124	△ 36	1,021	1,033	△ 12	
	その他	転院搬送	188	176	12	187	174	13
		医師搬送	0	0	0	0	0	0
		資器材輸送	0	0	0	0	0	0
その他		12	4	8	0	0	0	
合 計		1,830	1,855	△ 25	1,708	1,720	△ 12	
不搬送		139	153	△ 14				
管外搬送					1,076	982	94	

※管外搬送人員には、北播磨総合医療センターを含みます。(△印は減少)

## 3 地区別救急出場件数

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川
29年	569	162	160	134	53	47
28年	588	168	166	182	54	43
	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	その他	合計
	190	240	67	178	30	1,830
	149	234	86	151	34	1,855

#### 4 曜日別救急出場件数

木曜日が最も多く、次に日曜日となっています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計
29年	279	257	248	238	289	270	249	1,830
28年	290	240	259	250	281	265	270	1,855

#### 5 月別救急出場件数

1月が最も多く、最も少ないのは5月です。

1ヶ月平均305件、1日平均では10.1件出場しています。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
29年	344	318	309	278	272	309	1,830
28年	361	289	357	278	292	278	1,855

#### 6 時間別救急出場件数

10時台の128件が最も多く、次に9時台の117件で、最も少ないのは3時台の25件で、次に4時台の28件、2時台の31件です。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
29年	51	35	31	25	28	32	49	80	115	117	128	112
28年	38	24	37	28	25	34	50	59	114	143	122	112

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
106	105	87	92	101	83	96	96	87	66	60	48	1,830
124	102	111	88	95	89	106	109	65	68	60	52	1,855

## 7 傷病程度別搬送人員

傷病程度別では、中等症が全体の約半数を占め、次いで軽症、重症、死亡の順となっています。

単位：人

程度別	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
29年	24	67	814	803	0	1,708
28年	27	79	743	871	0	1,720

## 8 年齢別搬送人員

高齢者（65歳以上）が最も多く、搬送人員の63.7%を占めています。

単位：人

年齢別	新生児 (生後28日未満)	乳幼児 (28日～6歳)	少年 (7歳～17歳)	成人 (18歳～64歳)	高齢者 (65歳以上)	合 計
29年	1	72	61	486	1,088	1,708
28年	0	80	64	485	1,091	1,720

## 9 性別・科目別搬送人員

昨年と比べると男性8人の増加、女性20人の減少となっています。科目別では、内科859人、整形外科339人、脳神経外科の285人の順となっています。

単位：人

科目別	外 科		整形外科		脳神経外科		内 科		小児科		精神神経科	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
29年	79	43	165	174	162	123	487	372	39	26	1	1
28年	75	61	167	154	162	107	460	394	49	29	5	3

産婦人科	眼 科		耳鼻咽喉科		泌尿器科		その他		合 計	
女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
4	1	2	5	1	12	4	4	3	955	753
9	3	3	9	7	15	2	2	4	947	773

## 10 応急処置件数

全搬送人員 1,708 人中 1,708 人に対して応急処置が施されています。中でも患者観察の基本となる血中酸素飽和度測定(98%)、血圧測定(96%)は高比率で行われています。

事故種別 応急処置	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
応急処置対象人員(人)	1,021	161	286	240	1,708
止血	3	4	21	7	35
固定	6	72	47	18	143
人工呼吸	0	0	0	0	0
胸骨圧迫	0	0	0	0	0
心肺蘇生	33	0	4	3	40
酸素吸入	221	14	20	61	316
気道確保	63	1	6	7	77
経鼻エアウェイ	0	0	0	0	0
喉頭鏡・鉗子	0	0	0	0	0
※リングマスク等	19	0	0	2	21
※気管挿管	5	0	1	1	7
保温	80	12	17	8	117
被覆	3	27	57	15	102
在宅療法継続	6	0	0	0	6
除細動	4	0	0	0	4
血圧測定	968	161	278	236	1,643
心音・呼吸音聴取	195	40	17	25	277
血中酸素飽和度測定	994	161	283	237	1,675
心電図測定	584	39	90	123	836
※静脈路確保	23	0	1	2	26
心肺機能停止前	0	0	0	0	0
心肺機能停止後	23	0	1	2	26
※薬剤投与	8	0	0	1	9
※血糖測定	3	0	0	0	3
※ブドウ糖投与	0	0	0	0	0
その他	9	0	2	1	12
合計	3,203	531	843	744	5,321

※印は、救急救命士の特定行為

## 平成29年上半期の救助概要

平成29年上半期における救助出動件数は43件で、昨年に比べて15件多く、出動件数のうち交通事故によるものが13件で全体の約30%を占めています。

### 1 救助出動状況

区分	事故種別									
	火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
出動件数(件)	6	13	1			15	1		7	43
活動件数(件)	4	8				8			5	25
救助人員(人)		9				5			5	19
出動台数(台)	27	39	6			38	6		19	135
出動人員(人)	79	126	15			110	15		63	408

### 2 発生場所別出動件数

発生場所		事故種別									
		火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
屋内	住居	5					14				19
	その他の屋内										0
屋外	高速道路										0
	その他の道路		9						1		10
	その他の屋外	1	4				1	1	6		13
	内水面			1							1
	外水面										0
	山岳										0
その他											0
合計		6	13	1	0	0	15	1	0	7	43

### 3 事故種別地区別出動状況

三木地区が9件と最も多く、次いで自由が丘地区が7件となっています。

地区別 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
三木	3	1				3			2	9
三木南		2				1				3
別所	1	3				2				6
志染		2							2	4
細川	1	2							2	5
口吉川									1	1
緑が丘						2				2
自由が丘						7				7
青山										0
吉川	1	3	1				1			6
高速道路										0
管外										0
合計	6	13	1	0	0	15	1	0	7	43